

音声治療のドロップアウトに関する多施設共同後ろ向き研究

1. 研究の対象

2015年7月～2019年6月まで防衛医科大学校病院耳鼻咽喉科及び研究協力施設（東北大学病院、関西医科大学附属病院、九州大学病院）にて音声障害と診断され、言語聴覚士による音声治療の指示が出された方です。

2. 研究目的・方法

音声治療には一定の割合で通院が途絶えるドロップアウトが生じると言われています。これまで音声治療のドロップアウトの研究は主に米国を主体に行われてきました。日本とは保険制度等が大きく異なるため単純な比較は困難であり、本邦におけるデータを集める重要性は高いと考えます。また、一つの病院のみのデータでは、それぞれに地域性などに影響される可能性があり、多施設でデータを収集することの意義は大きいといえます。そこで今回我々は、音声治療のドロップアウトの現状について、4つの施設での共同研究を行うこととしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、年齢、性別、音声機能検査結果等を診療録から収集します。

4. 外部への資料・情報の提供

研究協力施設から臨床情報及び試料を受け取る際には、匿名化され、対応表は防衛医科大学校に送付されません。また、防衛医科大学校の患者さんの診療情報及び試料も匿名化され、対応表は個人情報管理補助者が管理します。また、研究成果を学会報告や学術雑誌等で公に発表する際は、研究参加者個人が特定されない形式で発表します。

5. 研究組織

研究主任者 耳鼻咽喉科学講座 助教 谷合信一

共同研究機関

東北大学病院 佐藤剛史

関西医科大学附属病院 宮田恵里

九州大学病院 山口優実

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

第2版 (2021年3月2日作成)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

関西医科大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号

宮田 恵里 (みやた えり)

TEL : 072-804-0101

防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

谷合 信一 (たにあい しんいち)

TEL : 04-2995-1686 (医局直通)

FAX : 04-2996-5212